

評価項目	チェック項目	判断の目安	評価		評価理由 (今回の評価がSである特筆すべき点【指S】【市S】) (今回の評価がCである理由【指C】【市C】) (対前回比でランクアップ又はランクダウンした理由【指〇→〇】【市〇→〇】)
			指定 管理者	市	
I 市民サービスの向上（共通項目）	1 基本的な考え方・姿勢	○指定管理業務に係る基本的な考え方や職員の姿勢が、当該施設の設置目的、施設の特性及び市の求める指定管理者像に合致しているか。	A	A	
		○団体等の持つノウハウ等の強みを活かした意欲的な創意工夫等を行う姿勢が見られるか。			
	2 サービス向上及び利用促進の取組	○指定管理者の独創的で魅力的な取り組みが、利用者サービスの向上や利用者増、地域活性化などにつながっている。 ○自主事業の開催に当たっては、利用者ニーズを反映させ、事業目的や効果を明確にし、より多くの利用者に参加してもらえるよう、各種工夫を行っており、また、対象別に多様な事業を実施している。	S	S	【指】 ○会議室等の利用時間帯を3時間単位として、午前1コマ、午後2コマ、夜1コマとして多くの団体が利用できるように配慮しているが、15時10分からの利用団体が少ないことから、利用案内に努め、会議室利用の効率を高めるよう努力している。 ○高齢者の教養講座として、アンケート等の要望から「高齢期からの低栄養予防講座」を開催し、募集20名に対し34名の参加があり好評であった。 ○高齢者のスマホ講座では、スマホ入門編、セキュリティ・防災の備え、LINEの準備や応用編など、クラス分けした講座を行い、スマホを未だ利用していない利用者に対しては講座参加への声掛けや講座受講後のフォローを職員で行っている。 ○毎週土曜日にスタッフミーティングを行い、利用者の情報共有や利用者への情報提供等、職員内で均一したサービス提供ができるよう努めた。 ○講座などのお知らせをホームページ、広報紙等に掲載している。メールでの申し込みが増えている。 【市】 ○会議室の利用については、貸出効率を上げるために、利用枠を増やしたが、現場の視点を活かしてより効率的な運用方法を検討することを求めている。その中で、利用の少ない枠を見極め、活用を求めるなど貸出効率化にむけた努力を続けている。 ○スマホ講座は、高齢者のデジタルデバイドの解消に貢献出来る取組であり、習熟度に応じたクラス分けや講座受講後のフォローなど、細やかに対応している点を評価している。 ○全体を通して、利用者のニーズをくみ取りながら、各種事業の企画をしている。今後も福祉会館の設置目的を念頭に置きながら、利用者にとって魅力的な企画を展開していただきたい。
		○適切な利用者への接客・応対、社会的弱者への配慮や、利用者の公平、公正な利用が確保されているか。			
		○利用者のニーズ等を収集し、それを反映する仕組みや、トラブル、苦情処理の適切な対応と未然防止・再発防止に向けた具体的な方策がとられているか。			
		○ホームページや広報紙等を活用し、積極的な情報提供による利便性の向上や利用者増に向けた取組を行っているか。			
	3 施設の維持管理等	○事業計画書等に沿って、建物・設備・備品・樹木等が適切に管理されている。 ○利用者が安全に利用できる状態が保たれている。 ○施設内及び敷地内の美観が保たれている。 ○市所有の備品と指定管理者所有の備品が区別されており、備品台帳に記された備品がすべて揃っている。 ○トイレ等の衛生状態が保たれている。 ○日常的、定期的に施設内外の巡回を行い、事故や犯罪を未然に防止するように努めている。 ○鍵の管理方法が明確になっており、適切に管理している。	A	A	
		○廃棄物の処理方法と合わせて、省エネルギー対策やごみ減量への取組等、環境法令を踏まえた環境負荷低減への取組が行われているか。			
		○業務の一部を外部委託する場合、業務の実施や履行確認等、管理指導の体制が整っているか。			
	4 緊急時の対応等	○緊急時・災害時の連絡体制、役割分担等が明確になっており、事態を想定した研修・訓練等の取組が行われているか。	A	A	
		○安全管理、衛生管理、危機管理等の徹底に向けたマニュアルの整備、全職員の対応力の平準化や意識啓発に向けた取組が行われているか。			
	5 職員配置等	○実施業務に即した職員配置等(人数、専門職、勤務体制、責任体制)であり、法令等に基づく雇用・労働条件等を管理監督する体制を有しているか。	A	A	
		○従事職員の資質向上や人材育成に係る取組は、効果的かつ適正なものであるか。			

令和6年度後期
施設名:福祉会館

評価項目		チェック項目	判断の目安	評価		評価理由 (今回の評価がSである特筆すべき点【指S】【市S】) (今回の評価がCである理由【指C】【市C】) (対前回比でランクアップ又はランクダウンした理由【指〇→〇】【市〇→〇】)
				指定 管理者	市	
Ⅱ 経費の 節減等 (共通項目)	6 その他	○市、関係機関、地域団体等との有効な連携・協力体制を確保しているか。 				

評価項目		チェック項目	判断の目安	評価		評価理由 (今回の評価がSである特筆すべき点【指S】【市S】) (今回の評価がCである理由【指C】【市C】) (対前回比でランクアップ又はランクダウンした理由【指〇→〇】【市〇→〇】)
				指定 管理者	市	
コメント	・アピールしたいポイント ・課題または今後の改善点など (※指定管理者が記入)	○老人福祉センターでは、常駐している看護師を中心に、見守りの必要な方への声掛けや利用者が健康への意欲を持って生活できる様な環境づくりを行った。「身体測定」では、体年齢を表示する事で、健康維持への意欲の向上につなげる事ができた。 ○毎月職員による「折り紙」、「みんなでカラオケ」などで認知症や高齢者のフレイル予防を意識しながら企画し開催することができた。 ○長く続く高齢者サークルは会員の減少や高齢化が問題となってきた。高齢者サークルの活性化につながる講座や催しの開催に取り組んでいく。 ○施設設備の老朽化が進み、豪雨など自然災害での影響があり、設備等の状態を適宜把握して、修理が必要な時には計画的に準備して実施していく。 ○会議室利用も少しずつ戻り、全会議室が利用される時間帯や駐車場が満車で駐車できないような状況になってきた。 ○開催講座や事業では、魅力のある内容の教室などをこれからも引続き提案していく。 【今後の課題】 ○近隣の施設閉館等に伴い利用団体が増える傾向にあるが、公平性を保ちつつ、既存団体の活動を支援できるよう努めていく。				
	・総括 (※市が記入)	○福祉会館の運営については設置目的をよく理解したうえ、社会福祉協議会の強みを活かした事業展開を行うことを常に意識していただきたい。 ○サービス向上のため、既存の人気イベントだけではなく、新しい取り組みにチャレンジされている。引き続き利用者のニーズを把握しながら、趣味(生きがいづくり)、健康などあらゆる分野で利用者が参加し たくなるような企画作りに努めていただきたい。 ○普段のコミュニケーションや見守りの中から、支援が必要な利用者を自らの窓口や他の支援関係機関へつなぎ、適切な支援に繋げていくことが、当館を運営していく上での社会福祉協議会ならではの強み と評価しているので、今後も積極的に行っていただきたい。 ○物価等の上昇により、管理運営コストの増額が見込まれる中で、コスト削減を常に意識し、効果が期待できる削減方法を検討すること。 ○令和8年度から利用者が全世代へ拡大される。また、近隣施設の閉館に伴い、新たな利用者が増えてくることが予想される。既存団体の活動支援を引き続き行いながら、新規利用者に受け入れられる取組 について検討を進めていただきたい。				

評価について	あった点
S	継続的に適切・良好であり、高く評価できる部分がある。
A	継続的に適切・良好である。
B	一部に適切・良好でない部分があったが、改善済み又は見込みである。
C	水準に未達の場合